

# 第 37 回北海道ジュニアオールスター 特別ルール及び確認事項

2019.2/1 北海道バスケットボール協会 U15 競技会運営グループ

## 1. 参加地区数

- 2 学年大会男子 → 昨年度 16 チームで開催。今年度は 15 チームで開催。
  - 1 学年大会男子 → 昨年度 15 チームで開催。今年度も 15 チームで開催。
  - 2 学年大会女子 → 昨年度 16 チームで開催。今年度は 15 チームで開催。
  - 1 学年大会女子 → 昨年度 15 チームで開催。今年度も 15 チームで開催。
- ※不参加地区がある場合、試合形式は北海道バスケットボール協会が決定する。  
※10名に満たない地区でも参加を希望する場合、基本的にオープン参加とする。

## 2. 出場選手数について

- 各チームはすべての試合で、10人以上の選手を出場させなければならない。  
上記に違反があった場合
  - ・片方のチームだけのとき 20-0 で違反したチームの負けとする。  
但し以降の試合に関しては出場できる。
  - ・両チームが違反したとき 没収試合とする。但し以降の試合に関しては出場できる。

## 3. 選手の出場ピリオドの制限について

- 選手の 1 試合での出場は、最大 3 ピリオドまでとする。  
上記に違反があった場合
  - ・選手が 4 ピリオドに出場していること (コートに出てプレーをした) が判った時点でゲームを止め、ベンチ (コーチ) のテクニカルファウルとして処理する。2 人目以降に関しても同様の扱いとする。  
コーチが 2 回目のテクニカルファウルを受けても退場とはしない。

### ※ 延長戦時の選手起用について

但し、試合が延長戦に突入した場合は、登録メンバーのどの選手にも出場が認められる。(ファウルアウトしている選手は除く)

## 4. 所属同一チームからの選手出場制限について(オンザコート 4 ルール)

- 同一チームの選手が 5 人同時に試合に出場することは、他に選手がいない場合を除いて認めない(大会の主旨が普及と地区全体の強化を目的とするものであるため)。但し、地区における登録チーム数が 10 チーム未満の地区については、このルールは適用されないものとする。

## 5. マンツーマン推進について

○「JBAより提案されているマンツーマンディフェンスの基準規則に則る」ことを各チーム再確認し、選手に伝え、コーチが率先してその指導・指揮を心がけることとする。

○マンツーマンコミッショナー（以下、コミッショナー）の設置

- ・大会運営に支障が出るため全試合のコミッショナー設置は行わない。
- ・基準規則に違反しているチームがある場合、コート主任もしくは大会運営者が注意を行うことができる。それでも、改善されない場合、試合途中から、コート主任または、大会運営者が試合途中からコミッショナーとして試合を観察することがある。
- ・大会実行委員が必要と判断した試合には複数のコミッショナーを配置する。その場合、試合開始10分前までに両チームのコーチにコミッショナーの複数配置を伝える。
- ・罰則の適用あった場合、故意的な違反行為があった場合、不適切な対応があった場合については、コミッショナーは速やかに競技本部に報告書を提出する。